

平成28年度 第2回技術研修会のご案内

日 時	平成28年9月7日(水) 13:30～16:30
会 場	アバンセホール(佐賀県立生涯学習センター) (佐賀市天神3丁目2-11 TEL 0952-26-0011)
主 催	公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構
後 援	佐賀県、(一社)佐賀県建設業協会、(一社)佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会
研修項目	(1) 「道路土工構造物技術基準の策定と性能確保における留意点について」

13:40～15:00

講師 国土交通省 国土技術政策総合研究所
道路構造物研究部 構造・基礎研究室

室 長 間 瀬 利 明 氏

これまでの道路土工構造物は土工要綱、土工指針等により設計・施工が行われてきましたが、今後は、H26年3月に制定された「道路土工構造物技術基準」により行うこととなります。その「道路土工構造物技術基準」の制定の経緯と概要について解説します。また、制定のきっかけとなった被災事例や不具合事例を紹介し制定の理由や、設計・施工における留意点等についても解説します。

(2) 「熊本地震から何を学ぶか」

15:10～16:30

講師 嘉瀬川防災施設さが水ものがたり館館長

佐賀大学名誉教授 荒牧 軍治 氏

平成17年に福岡県西方沖地震が発生したとき、九州でも直下型地震が起こりうることを学習したはずでした。しかし、南海トラフ地震が引き起こすであろう激しい揺れと巨大な津波に気を取られている間に、九州の中心部で震度7を2度も繰り返す直下型地震が牙をむきました。新たな耐震基準で震度7の揺れでも倒壊しないと考えられてきた住宅が、2度の震度7には耐えきれず、倒壊してしまいました。一方、阪神淡路大震災で多く倒壊した橋梁の橋脚は、震度7にも何とか耐えてくれました。

九州では地震にどのように向き合ってきたのか、どのように準備してきたか、その結果熊本地震で何が起こったのかを考えてみたいと思います。

対 象 者 地方公共団体等職員、建設事業関係者、一般の方(大学生以上)

定 員 300名

参 加 料 無 料

申込方法 当機構のホームページ(<http://www.sagacat.or.jp/>)よりお申し込みください。1社につき3名まで受け付けます。

『研修情報』→『技術研修会』→『平成28年度第2回技術研修会申込』をクリック!

申込期間 平成28年8月16日(火)14:00～平成28年8月26日(金)17:00

(ただし、期限前でも定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込み下さい。)

なお、定員に満たない場合は追加募集を行います。

平成28年8月29日(月)14:00～平成28年8月31日(水)17:00 予定

問合せ先 〒840-0857 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3182番地

(公財)佐賀県建設技術支援機構 技術部 企画情報課
TEL 0952-26-1668

そ の 他 1) 車でご来場される場合は、会場敷地内の駐車場をご利用下さい。
2) 座席は全席指定席(受付け順)となります。

※この研修会は、(一社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習(CPDS)認定を申請しています。